

障害者施設自主製品オンラインストア

「サデコMONOがたり」 オープン

さいたま市の九つの施設の雑貨やスイーツ、インテリアなど選りすぐりの自信作が並ぶオンラインストアが6月10日にオープン。「障害者福祉のイメージを一新」と早くも注目され、売れ行きも上々。障害者の工賃向上にもつながっている。



「デザイナーの視点から見ても、光るものがいっぱいある」と竹田良雄さん(サデコショップで)



約半年間、サデコスタッフによる打ち合わせを重ねてきた

と思えるものばかり。オンラインストアをのぞいてみて、それぞれのストーリー（物語）も楽しんでもらえたら」と語る。

施設同士がつながり セット販売も考案中

さいたま市福祉部によると、参加施設の担当者は「ストア開設を機に施設同士のつながりができたので、お互いの商品のセット販売なども考案中。売れ行きも好調で、施設内でも製品作りの目標や意欲向上につながっているのがうれしい。もっと盛り上げていきたい」と話しているという。

一部商品は、川口市内の実店舗「サデコショップ」で展示販売中。「やっぱり実物を見たくて」と来店する人も増えている。（トモ）

※問い合わせ

☎048(859)7775
さいたま市保健福祉局福祉部 障害者総合支援センター

【サデコショップ】

SKIPシティ・SA
1FEC1階(川口市
上青木3の12の18)
☎048(262)002

オンライン
ストアは
こちら



お気に入りが見つかるかも

「サデコ代表理事でデザイナーの竹田良雄さんは、「質が高く丁寧な作り、斬新なデザイン、味の良さを知ってほしい。」「障害者のために「じゃなくて」「すてきだから買いたい」

今までにない取り組みがスタート
障害者施設は自主製品を販売できるイベントで、さいたま市「障害者授産支援アドバイザー派遣事業」でも活躍している、サデコ（公益社団法人埼玉デザイン協議会）が中心となってオンラインストアを開設。市内の9施設が参加している。

ネット通販の不安を解消し、商品の魅力がより伝わるようにと、サデコが商品デザインやキャッチコピー、画像撮影をアドバイザー。約半年の準備期間を経てオープンした。

サデコ代表理事でデザイナーの竹田良雄さんは、「質が高く丁寧な作り、斬新なデザイン、味の良さを知ってほしい。」「障害者のために「じゃなくて」「すてきだから買いたい」